



がががみりま

令和3年8月25日
京都市立鏡山小学校
(TEL581-2183)
(FAX581-2184)

7月実施 学校評価 結果報告

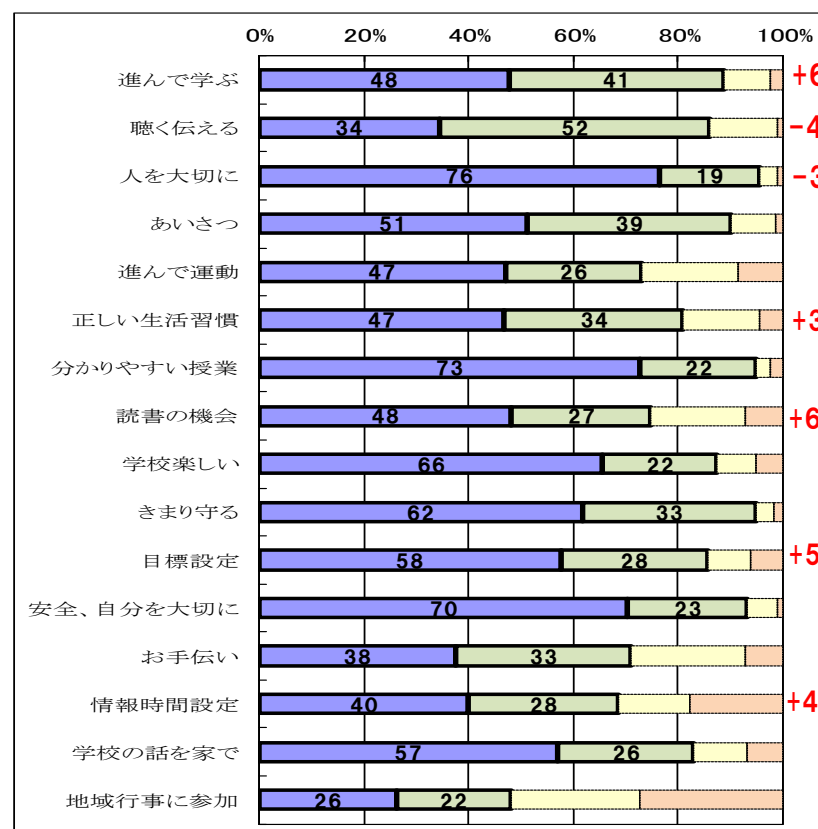
表の見方について

各項目左はし□ …できている（数字は％）

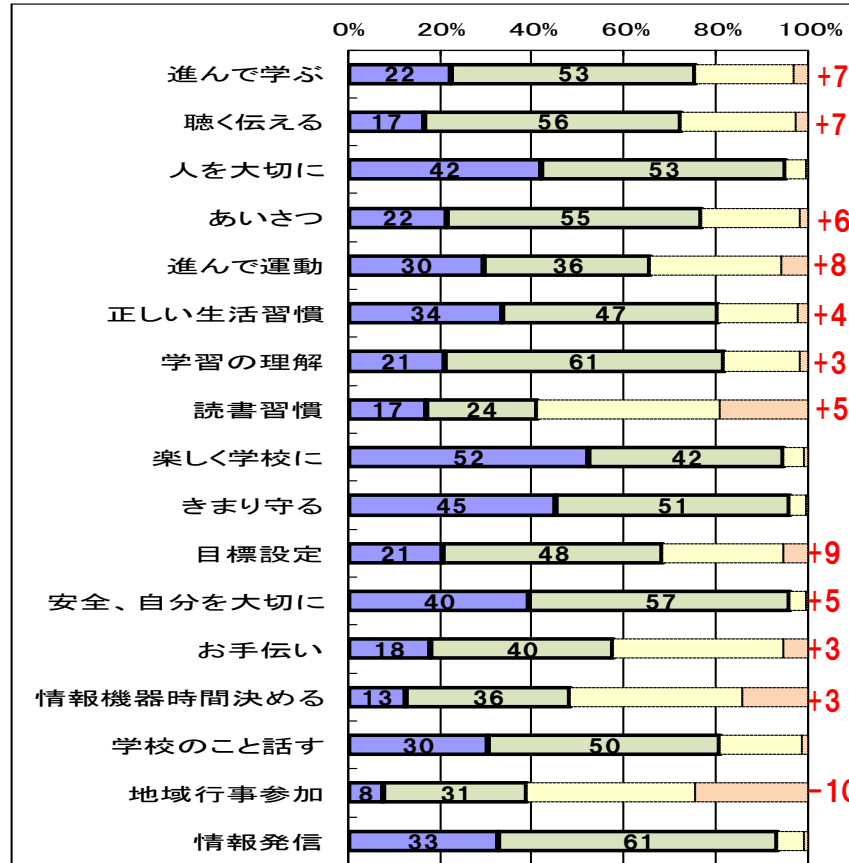
各項目左から2つ目□…だいたいできている（数字は％）

各項目右端数字…昨年7月比で＋－3％以上のもの

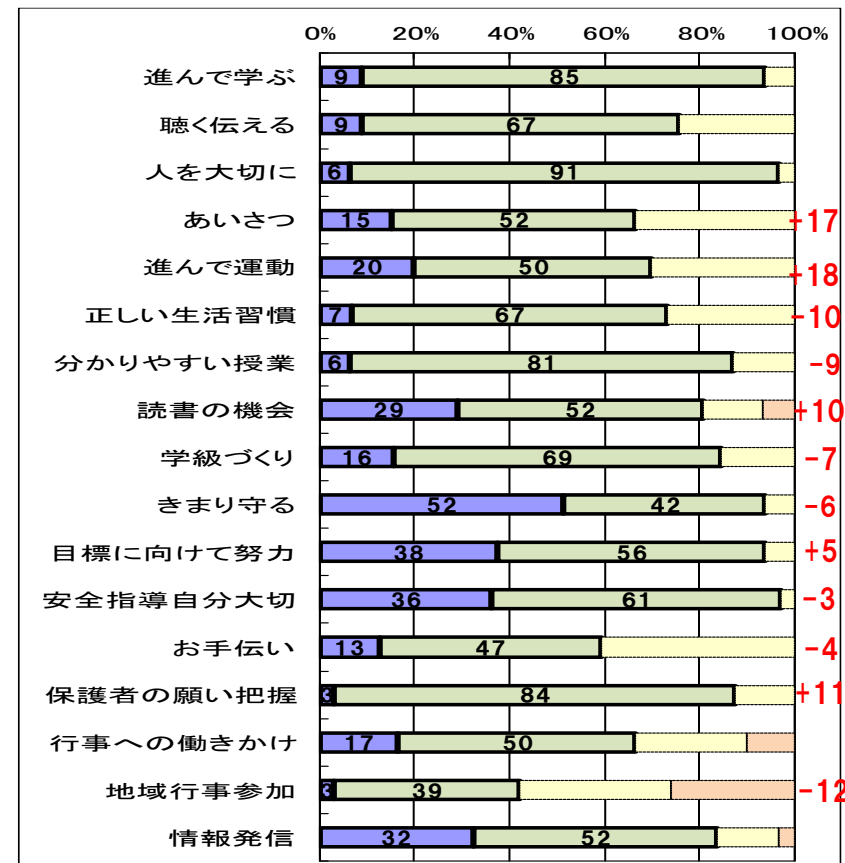
＜児童＞



＜保護者＞



＜教職員＞



アンケート結果より

＜全体＞

- 昨年度より全体的に数値が上がっている。
- 「進んで学ぶ」や「学習の理解・分かりやすい授業」の実現度が上がってきており、学習への意欲が高まりつつある。
- 「目標設定」や「目標への努力」の項目が3者とも上がっている。
- ▲ 「読書の機会」と「お手伝いを」と「情報機器の時間を決める」の実現度が低い。

＜児童＞

- 昨年度に引き続き「進んで学ぶ」の実現度が上がり、コロナ前と比べて、学習意欲が高まっている。
- 昨年度実施できなかった朝の読書タイムの時間を確保し、「読書の機会」が増えたと感じている児童が多い。
- ▲ 「人を大切に」の実現度は高いが昨年度より下がっているため、人間関係等を注意深く見ていく必要がある。
- 低学年の数値が他学年より下がっている傾向にある。

＜保護者＞

- 全体的に評価が上がっており、学校の取組をご理解いただくとともに、子どもたちも伸びてきている様子がうかがえる。
- ▲ 家庭での「読書習慣」や「お手伝い」があまり定着していない。
- 「情報機器の時間設定」ができていない家庭が多い。

＜対策＞

- ・本校の例年の課題であった「読書」への意識が高まっています。朝の読書タイムを設定したり、1学期の読書週間の取組内容を増やしたり、また国語の授業と関連付けて並行読書の本を教室に置くなどして、本に親しむ時間を増やしています。ただ、なかなかお家では読書の習慣がない子どもたちが多いようです。保護者の皆様からのアンケートを集約してみても、「読書習慣を身に付けること」へのニーズが全項目中最も高いです。後にも述べる情報機器の時間設定とも関係してくると思いますが、ぜひ各ご家庭でも本を読む時間を決めていただくとともに、山科図書館を利用するなどして、本への興味を高めていただけたらと思います。
- ・保護者の皆様のご協力により「情報機器の時間の設定」の項目において、昨年度よりも実現度が上がっています。しかし数値としては高くはなく、保護者のニーズも「読書」に続いて2番目に高い項目です。学校ではGIGAスクール構想が本格化し、一人1台のタブレットを用いた学習活動も徐々に進めています。いずれは、タブレットを各ご家庭に持ち帰って課題をするといったことも出てくるかと思っています。情報機器によるトラブルが低年齢化している中で、学校でも情報モラルを教えたり、「非行防止教室」を実施したりして、規範意識が育つように指導しています。各ご家庭でも子どもたちが保護者の管理のもとで情報機器を扱うよう、ルール作りをお願いします。